令和３年度　学校評価書（中間評価）

※１段：R3中間　２段：（R2最終）

珠洲市立大谷小中学校

重点目標		外部アンケート 保護者アンケート	A＋B	生徒アンケート	A＋B	自己評価 評価指標	達成度評価規準	評価	達成度状況の考察（○）と改善方法（●）
1	確かな学力の向上	学校は、子どもの学力向上に努めている。	82.5 (96.3)	授業の導入で、疑問を持っている。	100.0	【努力指標】 児童生徒は自分の持っている知識・技能を活用して、表現し反応できる。	学習アンケート 生活アンケート 保護者アンケート ◎：９０%以上 ○：７５%以上 △：６０%以上 ×：６０%未満	◎	○授業の導入で、疑問を持っている項目は１００%であり、１学期に取り組んだ学力向上プランの取り組みの成果と考えられる。 ○児童・生徒は、授業への取り組みに達成感を持っている。 ○児童・生徒と保護者の回答には、１０%程度の差があり、学力向上に不安を持っている保護者がいる。 ○昨年度２月の保護者アンケートは９６．３%だったが、今回は８２．５%と１０%以上減少している。 ○反応し合うことは楽しいことと感じることができているの項目は、他の項目と比べ、肯定的な割合が低い。 ●反応し合うことを楽しいと思えるために、委員会活動や集会で、一往復半の対話の場面を増やし、授業で反応し合うことの基盤をつくる。 ●漢字コンテストや重要語句テストの取り組みを継続し、保護者にも伝える。
				自分の考えを、授業で１回は発表している。	96.0 (93.3)				
				他者の発言について感想・意見などで反応を返している。	92.0 (86.5)				
				複数の資料を活用して、自分の考えをまとめることができている。	96.0 (71.0)				
		学校は、子どもの体力向上に努めている。	89.2	振り返りに初めて知ったことや書いたこと、考えを再認識したことを書けた。	96.0				
				話し合う活動を通じて、自分の考えが深まっている。	96.0 (93.9)				
				課題の解決に向けて、自分の考えを進めていくことができた。	88.0				
				課題を解決するために、反応し合うことは楽しいことと感じることができている。	80.0				
		子どもは、家庭学習の習慣がある。（前期30分、中期60分、後期90分）	74.2 (80.6)	家で予習に取り組んでいる。	40.0 (44.9)	【努力指標】 各学年の目標家庭学習時間を達成できた。	学習アンケート 生活アンケート 保護者アンケート ◎：９０%以上 ○：７５%以上 △：６０%以上 ×：６０%未満	○	○ほとんどの児童・生徒が課題や宿題を忘れずに提出しており、家庭学習のあり方や課題・宿題について継続的に指導してきた成果と考えられる。 ○学年目標の家庭学習に取り組んでいるという項目では、昨年度２月より３０%減少した。 ●学年目標の家庭学習を定着させるために、自学ノートに取り組む回数を増やす。クロームブックを使ったノートの評価も継続する。
				毎日、学年目標の家庭学習に取り組んでいる。	68.0 (97.0)				
				毎日の課題や宿題を忘れずに提出している。	96.0 (93.9)				
		子どもは、睡眠を7時間３０分程度とっている。	92.5 (81.2)	早寝・早起きを心がけている。	72.5 (86.8)	【努力指標】 家庭と協力・連携して、より良い生活習慣が身につくように指導できた。	生活アンケート 保護者アンケート ◎：９０%以上 ○：７５%以上 △：６０%以上 ×：６０%未満	◎	○朝食とインターネットのルール作りの項目は、９０%以上であり、「げんきもりもりチェック」などの保健指導や生徒指導からの継続的な指導の効果と考えられる。 ○「ルールを作っている」項目では１００%だが、「ルールを守らせている」項目では８１．７%であり、差がある。 ●「げんきもりもりチェック」では、保護者からのコメントをもらっている。そのコメントを教職員がよく読み、指導に生かす。
		子どもは、朝食を食べている。	100.0 (94.4)	きちんと朝食を食べている。	100.0 (96.3)				
		保護者として、ＳＮＳ・ゲーム・インターネットの家庭内のルールを作っている。	100.0 (100)	ノー画面デーに取り組んでいる。	92.5 (96.3)				
		保護者として、珠洲市ルール(9時以降はしない」や、家庭内ルールを守らせている。	81.7 (81.5)	＊	＊				
2	主体的に行動できる児童生徒の育成	子どもは、喜んで学校に行っている。	86.7 (96.3)	学校へ行くのが楽しい。	73.3 (83.8)	【努力指標】 部活動や児童生徒会・委員会活動や各種行事などを通して、充実した学校生活がおくれるように指導できた。	生活アンケート 保護者アンケート ◎：９０%以上 ○：７５%以上 △：６０%以上 ×：６０%未満	○	○学校へ行くのが楽しいという項目では、２５%以上の児童・生徒が、楽しくないと回答している。この値は、昨年度２月のアンケートより、１０%減少している。 ○児童・生徒間のトラブルや、各行事や児童・生徒会活動に満足できていないことが原因と推察される。 ●各行事や児童・生徒会活動の充実とともに、様子が気になる児童・生徒との面談、全教職員による日常的な声かけ、学びの満足感のある生きた体験活動に取り組む。
				部活動で自分は鍛えられている。	85.0 (90.0)				
				児童生徒会や委員会活動はやりがいがある。	76.3 (91.0)				
		学校は、子どもが協力して課題を解決する学習に積極的に取り組んでいる。	89.2 (96.3)	難しいことにも、失敗を恐れないで挑戦している。	80.8 (84.0)				
		子どもは、自分から家族や地域の人に挨拶ができる。	77.5 (81.0)	地域の人たちにきちんとあいさつができている。	100 (93.3)	【努力指標】 挨拶やマナーなど、その場に応じた言動ができるよう日常的に指導を進めることができた。	生活アンケート 保護者アンケート ◎：９０%以上 ○：７５%以上 △：６０%以上 ×：６０%未満	○	○あいさつについての項目では、児童・生徒の回答は１００%になった。地域に元気を届けようとする取り組みが、日常的なあいさつにつながっていると考えられる。 ○将来に対する夢や希望を持っているの項目では、昨年度２月には７５%だったが、６８．３%にさがった。 ●キャリアパスポートを生かし、学期ごとの短いスパンでの目標・振り返りや、ゲストティーチャー ●学校以外の広い学びの場での体験を積み重ねていく。
		子どもは、家の手伝いをしてる。	54.2 (54.5)	＊	＊				
		子どもは、決まりを守って生活している。（服装や自転車の乗り方）	85.0 (83.1)	将来に対する夢や希望を持っている。	68.3 (75.0)	【努力目標】 将来の夢を実現するために、キャリア教育を推進できた。		△	
		学校は、生徒理解に務め、適切に対応している。	93.3 (100)	自分にはよいところがある。	60.0 (77.4)	【努力指標】 教育相談活動を充実させるなど，児童生徒の悩みや相談事を親身に受け止め、共感的人間関係づくりと自己有用感が高まるように生徒指導に努めることができた。	生活アンケート 保護者アンケート ◎：９０%以上 ○：７５%以上 △：６０%以上 ×：６０%未満	○	○昨年度２月には７割を超えていた、自分にはよいところがあるの項目が、６割になった。 ○自己教育力を高めるということについて、自分をほめることが苦手な児童・生徒がいる。 ●学級や、毎日の記録を使って、自分をほめたりしかったりする機会をつくる。 ●自分をほめたりしかったりする記録を掲示して視覚化する。自分だけでなく、友達や教師からも書いてもらうことで、認められているという気持ちをはぐくむ。
				自分を褒めたり、叱ったりできる。	75.8 (90.2)				
				先生方は、いじめやトラブルに対し、すぐに対応してくれる。	89.2 (93.3)				
				思いやりの心を持って、級友などの接している。	88.3 (93.3)				
				自分のまわりには、いじめや仲間はずれはいない。	85.8 (93.5)				
				先生や友達に褒められたり認められたりすることがある。	92.5 (87.5)				
		保護者として、良いことについては褒めることを大切にしている。	100 (96.3)	＊	＊	【努力目標】 子どもの成長に気づき、褒めることができる。	保護者アンケート ◎：９０%以上 ○：７５%以上 △：６０%以上 ×：６０%未満	◎	
		保護者として、悪いことについては、叱ることを大切にしている。	100 (100)	＊	＊				
3	保護者・地域との絆	学校は、児童・生徒のことで相談しやすい雰囲気である。	96.7 (100)	いろいろな悩みについて、先生は相談にのってくれる。	90.0 (91.2)	【努力指標】 学校だよりや各種お便り等を充実させ、学校から積極的に情報発信することができた。	保護者アンケート 児童アンケート 生徒アンケート ◎：９０%以上 ○：７５%以上 △：６０%以上 ×：６０%未満	◎	○保護者は学校からの通信によく目を通してくれていて、児童・生徒も学校からのおたよりを保護者にしっかり届けるようになった。
				いろいろな悩みについて、友だちは相談にのってくれる。	89.2 (90.5)				
		学校は、通信等で方針や児童・生徒の様子をわかりやすく知らせている。	96.7 (96.3)	＊	＊				
		保護者として、学校からの通信に目を通している。	100 (100)	学校だよりなど、学校からのおしらせを必ず家に人に見せている。	95.8 (86.8)				
		学校は、ふるさとを大切にする学習に積極的に取り組んでいる	89.2 (96.3)	地域の行事やボランティア活動に参加している。	92.5 (80.1)	【努力指標】 児童生徒に対し、ふるさとや地域に目を向けさせ郷土愛を深めることができた。		○	○地域に笑顔と元気を届けるという項目では、新型コロナのため、地域行事がなくなった影響が考えられる。 ●地域の方に、ゲストティーチャーに来ていただく機会を増やし、地域とのつながりを深める。
				地域に笑顔と元気を届けることができる。	72.5 (84.4)				
		学校は、授業参観や行事等で保護者が参加しやすいようにしているしている。	92.5 (100)	＊	＊	【努力指標】 保護者が学校の行事に参加しやすいように工夫することができた。		◎	
4	働き方改革	時間を意識し、見通しをもって仕事ができている	75.0 (100)	＊	＊	【努力指標】 担当業務を効率的に行うための改善に取り組むことができた。	教職員アンケート ◎：９０%以上 ○：７５%以上 △：６０%以上 ×：６０%未満	○	○時間を意識し、見通しをもって仕事ができているという項目が、昨年度２月から２５%減少した。 ●チームや前期課程・後期課程で声をかけあって、仕事を進める。
		20時までに退校できている	91.0 (100)	＊	＊				